

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81100 消防本部運営事業費	会計	1 一般会計	総 計 画	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
担当課	消防本部 消防総務課	款	8 消防費		基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	消防本部運営事業		
		項	1 消防費		分野	9 消防	H28実施計画額	57,400 千円		
		目	1 常備消防費		施策概要	2 消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	消防本部の運営、関係機関との連携・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・通信指令システムの維持管理 ・県の防災ヘリコプターの飛騨地域常駐のための関係機関との打ち合わせ、県への要望
対象者数	92,595 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令装置の維持管理 防災ヘリの県への継続要望 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	119番通報受信件数	件	目標値	0	0	0	0
		実績(見込)	7,246	7,127	6,996			
	算出根拠等	通信統計		達成率(%)				
	成果指標	災害出動件数	件	目標値	0	0	0	0
		実績(見込)	4,378	4,649	4,459			
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 防災ヘリについては、必要性等継続的な県への働きかけが課題。 施設の維持管理については、あらゆる面での節約が必要。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 防災ヘリの飛騨地域常駐の実現に向けた県への要望を継続的に行う必要がある。 通信指令回線・病院間等の連絡体制は必要であり、災害時の消防無線を含め、通信機器の保守を継続する。 消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令通信システムの適正な保守管理方法を構築する。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム機器を適切に保守管理する。 引き続き適正な業務の執行に努める必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 43,854	51,448	49,685	94,491
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 467	551	537	1,020
	受益者 高山市民及び白川村民	(B) 93,807	93,308	92,595	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部運営に関する企画・統制に係る事務 人事、予算、庶務等消防組織に関する事務 全国消防長会等、消防本部に関する各種会議の対応 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令台及びデジタル無線システムによる消防体制の充実 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理費の節約
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	49,685	94,491	44,806	72,999	72,999	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金		369	369	518	518		
その他	8,765	17,104	8,339	11,701	11,701		
一般財源	40,920	77,018	36,098	60,780	60,780		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81110 消防署	消防署運営事業費	会計	1 一般会計	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
			款	8 消防費	基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	消防署運営事業		
担当課	消防本部 消防総務課	内線	項	1 消防費	分野	9 消防	H28実施計画額	29,300 千円		
		2119	目	1 常備消防費	施策概要	2 消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え車両や機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(うち、白川出張所は白川村から消防事務を受託している。)
	対象者数	92,595 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・消防庁舎(本署、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	庁用燃料費(灯油使用量)	L	目標値	62,400	60,000	60,000	60,000
				実績(見込)	51,448	47,203	45,000	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	82	79	75
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	施設の老朽化に伴う維持修繕等維持管理費の増大等経費はかさむが、どれだけでも経費の削減に取り組む。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	出張所の統合を含めた消防体制について検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	高山消防署等の維持管理費用を節約するとともに、維持改善に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	出張所の統合なども含めた消防体制について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 26,986	28,585	29,336	29,751
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 288	306	317	321
	受益者	高山市民及び白川村民 (B)	93,807	93,308	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	・消防署(分署・出張所含む)の運営 ・消防署(分署・出張所含む)の維持管理費	要求のポイント	・消防署(分署・出張所含む)の維持管理	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴う維持管理費の増大
------	---	---------	---------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		29,336	29,751	415	28,893	28,893	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	2,354	2,101	△ 253	2,176	2,176		
	一般財源	26,982	27,650	668	26,717	26,717		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81120 防災事業費	会計	1 一般会計	総合計 基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。	
		款	8 消防費		基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業			予防事業
担当課	消防本部 予防課	項	1 消防費		分野	9 消防	H28実施計画額			1,000 千円
	内線 2118	目	1 常備消防費		施策概要	1 予防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施などにより、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
	対象者数	92,595 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成及び実施と違反是正 ・防火管理講習の企画運営と受講促進 ・春季、秋季火災予防運動及び文化財防火デーに伴う実施計画の作成及び実施 ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報及び戸別訪問等の実施 ・危険物安全協会や飛騨火災事故防止協議会による事業への参画 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	防火対象物・危険物施設の立入検査	件	目標値	798	800	800	800
			実績(見込)	689	745	800	
算出根拠等			達成率(%)	86	93	100	
活動指標	防火管理講習の実施	回	目標値	3	3	3	3
			実績(見込)	3	3	3	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	住宅用火災警報器の設置率	%	目標値	95	100	100	100
			実績(見込)	97	97	97	
算出根拠等			達成率(%)	102	97	97	
成果指標	防火管理講習修了証の交付人数	人	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	110	106	117	
算出根拠等			達成率(%)	110	106	117	
成果指標	火薬類(煙火)の消費許可	件	目標値	29	35	43	38
			実績(見込)	35	43	38	
算出根拠等			達成率(%)	121	123	88	
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防業務は、全般的に法規制の許認可等により、市民が安全、安心して生活できるよう展開している。 						
			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・製品火災の原因判定など、複雑化する火災調査に対応するため、調査員の知識、技術の向上を図る必要がある。 ・火災の予防に関する高度な知識及び技術を有するものとして消防庁長官が定める資格を有する予防技術資格者を養成し、署所配置の充実を図る必要がある。 ・権限移譲事務について、新たに専門的な知識、技術の習得や研修受講、事務量の増加に対応するための具体的な検討が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・火災調査員の知識、技術を向上するため、外部機関による研修を含めた職員研修を継続実施する。 ・住宅用火災警報器設置推進について、設置率がおおむね100%に達したため、維持管理の啓発を主眼とした計画に基づき推進する。 	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・火災調査員の外部及び内部研修を継続し、知識及び技術の向上を図る。 ・予防技術資格者を養成、署所に適正配置し有効活用を図る。 ・住宅用火災警報器設置対策実行計画に基づき、住宅用火災警報器の設置推進、維持管理の啓発を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)			
	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
歳出(千円)	(A) 958	986	1,030	1,186
受益者1件当たり(円)	(A/B)			
受益者	(B) 93,807	93,308	92,595	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防運動・住宅用火災対策等の啓発活動 ・防火対象物・危険物施設・高圧ガス施設等の防火保安体制の充実 ・火災原因損害調査 ・高山市防火協会補助 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防の啓発等に要する経費を計上 ・権限移譲に係る許認可事務等に要する経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市火災予防査察規程等に基づく立入査察の実施と違反是正 ・予防業務に関する研修計画(火災調査員の階層別研修含む)の実施 ・住宅用火災警報器維持管理の啓発を主眼とした計画の作成と、それに基づく啓発強化 ・予防技術資格者の養成 ・予防技術(火災調査含む)の伝承と向上 ・権限移譲に係る専門的な知識、技術の習得や研修
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,030	1,186	156	1,030	1,030	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	859	1,186	327	1,030	1,030		
	その他	171		△171				
	一般財源			0				

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81130	消防事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	5		基盤・安全	実施計画事業		警防事業		
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117	項	1	消防費	分野	9	消防	H28実施計画額	15,200 千円		
				目	1	常備消防費	施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・消防車両、消防資器材、救助資器材及び水防資器材が、常に最適な状態を保つ。 ・緊急消防援助隊訓練、近隣消防本部との連携訓練等を実施し、災害対応力の強化を図る。 ・各種訓練や資器材の点検・維持管理により、災害時における効果的な消防活動を展開して、火災及び各種災害の被害を軽減させる。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防本部内における各種訓練の実施、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練及び警察等との訓練実施して、小隊活動のスキルアップを図り、災害現場において、安全かつ効果的な活動を展開して、被害の軽減を図る。 ・消防車両や消防資器材の点検、維持管理を徹底し、災害現場において安全かつ有効な活動を実施して、2次災害の防止と被害の軽減を図る。
対象者数		92,595 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベは45本を耐圧再検査実施により安全確認を実施 消防車両については、車両の安全運行のために17台の車検整備を実施 都市型ロープレスキュー資器材は、国府分署に配備し、全署所分の整備を完了 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		空気ボンベ容器の耐圧再検査	本	目標値	14	45	14	18
	算出根拠等		実績(見込)	14	45	14		
	活動指標	消防車両等車検整備	台	目標値	22	17	21	17
		算出根拠等		実績(見込)	22	17	21	
	活動指標	都市型ロープレスキュー資器材の整備	セット	目標値	1	1	1	1
		算出根拠等		実績(見込)	1	1	1	
	活動指標	火災件数	件	目標値	32	34	34	0
		算出根拠等		実績(見込)	42	28	16	
活動指標	救助件数	件	目標値	63	63	63	0	
	算出根拠等		実績(見込)	74	64	37		
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両のエコ運転の励行や車両及び機械器具に対する器具愛護を徹底することにより、今後も自動車燃料費、器具修繕費の抑制に努める必要がある。 今後、益々多様化する災害や、発生が危惧される地震災害に対して、隊員のスキルアップと隊活動の強化、関係機関との連携強化を図り、現場対応力を高める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 車両及び各種資器材の経年劣化等も進む中、点検、保守を確実に実施しながら、不具合の早期発見、修繕費用の抑制を継続して実施する。 現在保有している資器材等を最大限に活用できるよう、各種訓練において小隊活動及び連携活動等の現場対応力を強化する。 発生が危惧される地震災害等に対応するための各種訓練、関係機関との連携訓練を実施して、現場対応力を強化させることにより、市民の安心安全を確保していく。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・必要される消防資器材の見直しや集中管理による不具合の早期発見、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 ・各小隊活動の強化と、複数小隊の効果的な連携活動及び効果的な指揮運用を図り、災害の早期終息と被害の軽減に繋げる。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,734	16,490	15,210	16,038
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	157	177	164	173
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	93,807	93,308	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応能力の向上のための各種訓練、研修等 消防車両及び消防資器材の適正な維持管理 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救助用資器材の整備 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の車検整備の他、突発的修繕への対応 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する災害に対応するための資器材等の更なる充実強化
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,210	16,038	828	15,260	15,260	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	820	1,206	386	820	820		
一般財源	14,390	14,832	442	14,440	14,440		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81140	救急事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
				款	8	消防費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課	高山消防署 救急課	内線		項	1	消防費	分野	9	消防	H28実施計画額	8,500 千円		
		2117		目	1	常備消防費	施策概要	4	救急対策の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか(意図)	・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい応急手当の実施率の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習会の受講の場を提供する。
	対象者数	92,595 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・救急現場において実働可能な新任救急救命士5名を養成した。 ・救急救命士の再教育(病院実習)を実施した。 ・薬剤認定救命士3名を追加した。 ・公募による普通救命講習の開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を実施した。 						
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	救急救命士数	人	目標値	27	27	27	27
		算出根拠等		実績(見込)	28	33	38	
				達成率(%)	104	122	141	
	活動指標	救命講習会等の開催	回	目標値	300	300	300	300
		算出根拠等		実績(見込)	317	321	320	
				達成率(%)	106	107	107	
	活動指標	現場到着所要時間	分	目標値	8	9	8	8
		算出根拠等	消防統計	実績(見込)	8	9	9	
			達成率(%)	100	101	113		
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士が行う救命処置における拡大項目(薬剤投与、気管挿管)については、救急隊員の乗車数により処置の可否が左右されるため、応援隊の出動が必要となっている。また、平成26年4月1日から処置拡大2項目が更に認められ、これを実施するためには新たな追加講習等を修了することが必要である。 ・応急手当の普及啓発を幅広く展開することで、より一層の救命率向上につながる。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県メディカルコントロール協議会において、平成26年度に決定された新たな処置拡大2項目を行うことができる新処置認定救命士の育成を計画的に図りつつ、引き続き実働可能な救急救命士及び薬剤認定救命士の育成事業を実施する。 ・AED設置施設やボランティア等を対象とした応急手当の普及啓発を充実させる。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、気管挿管認定救命士、新処置認定救命士の育成を今後も実施する。 ・救命講習会を今後も広く市民が受講できるよう開催する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,417	7,445	7,744	8,989
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	79	80	84	97
	受益者	高山市民・白川村民	(B)	93,807	93,308	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の再教育(病院実習、研修) ・応急手当の普及に向けた救命講習会の開催 ・救急活動に使用する救急資器材(消耗品)の購入、保守点検 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、研修) ・救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修) ・医療機関消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・挿管認定救命士の養成に必要な挿管実習は飛騨医療圏では受入先病院がないため、他医療機関の養成で実施しなければならない ・就業前病院実習等計画的に救急救命士を育成していく必要がある
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,744	8,989	1,245	8,834	8,834	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	7,744	8,989	1,245	8,834	8,834		
一般財源			0				

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81200	消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	5		基盤・安全	実施計画事業		消防団運営事業		
担当課	消防本部 消防総務課		内線	項	1	消防費	分野	9	消防	H28実施計画額	280,000 千円		
	2119			目	2	消防団費		3	消防団の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・火災を始めとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務が、迅速かつ的確に行き渡る体制づくりに努め、市域における災害時の被害軽減等を旨とする。市民の安全安心を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防団員の任免、報酬、手当等の支給。消防団行事等の企画、運営。消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資器材等の維持管理 ・市消防協会会員の弔慰救済、福利厚生、表彰など消防協会の事業を運営する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・火災多発時、雪害、クマ出没等における広報活動 ・花火大会等、イベントにおける警備 ・組織等検討委員会を開催し、組織、定数、災害活動団員について協議 ・消防団応援事業所制度の加入事業所拡大 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	災害・訓練への出動	人	目標値	26,259	28,884	29,000	31,900
			実績(見込)	35,821	36,185	36,000	
活動指標	訓練・研修会実施回数	回	目標値	90	90	90	90
			実績(見込)	105	117	100	
活動指標	警備・予防活動	回	目標値	30	30	30	30
			実績(見込)	52	32	30	
成果指標	消防団員数	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100
			実績(見込)	1,889	1,858	1,826	
成果指標	消防団応援事業所	事業所	目標値	75	80	85	90
			実績(見込)	78	80	82	
補足	災害対応、訓練のほか、警備、予防、広報活動等多様な活動を展開 ・消防団活性化を目的とした事業を展開し、また地域での勧誘により、災害活動団員を含め現状の団員数をほぼ維持している。		目標値				
			実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や支団に対し説明や協議を行い、組織の再編を進める。 ・市消防協会への補助金は福祉共済の加入や、弔慰救済、表彰及び福利厚生などの処遇充実にて充てられており、消防団の安全な活動及び活性化に不可欠である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の再編を進め、必要な消防力を明らかにし条例定数の改正を目指す。 ・県の消防団加入促進事業等を有効活用し、団員募集を推進する。 ・福利厚生の充実、安全な活動環境の確保を継続する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な車両台数になるよう組織再編を継続する。 ・県の開始する「消防団協力事業所支援減税制度」を活用し、団員の活動環境改善を図る。 ・福利厚生の充実、安全な活動環境の確保を継続する。
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な消防力の検証を行うとともに、分団・班の再編を着実に推進する必要がある。 ・消防団員を雇用する事業所等を支援することにより、団員の活動環境の改善を図り団員確保に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	235,021	265,662	253,382	251,907
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,552	2,900	2,786	2,770
受益者	高山市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938	

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の報酬、報償金、賞賜金の支給 ・消防団員の公務災害、福祉共済などの福利厚生事業 ・消防団活動の運営に必要な被服整備などの各種事業 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ有効に活動できるための施設や装備、車両等の維持管理 ・消防団員が安全に活動できるための福利厚生事業 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の安全確保、施設や装備品等の充実を図り、消防団の活性化につなげる ・消防団員を雇用する事業所の表示制度を整備し、消防団活動への理解協力につなげる
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	253,382	251,907	△ 1,475	242,831	242,831	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	25,400	30,953	5,553	25,400	25,400		
一般財源	227,982	220,954	△ 7,028	217,431	217,431		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81300 消防施設整備事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
		款	8 消防費		基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	消防施設整備事業		
担当課	消防本部 消防総務課	項	1 消防費		分野	9 消防	H28実施計画額	15,000 千円		
	内線 2119	目	3 消防施設費		施策概要	2 消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民	どうしたいのか(意図)	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全安心を図る。 ・消防救急デジタル無線システムへの移行により、不用となったアナログ無線設備の撤去等を計り、信頼性の高いシステムによって、市民の安全を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	・団車庫を計画的に整備する。 ・不用となったアナログ無線設備の撤去等整備する。
	対象者数 90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車庫修繕工事 7ヶ所 高山支団(空町) 清見支団(藤瀬) 一之宮支団(一之宮・段) 高根支団(野麦・黍生) 国府支団(宇津江2区) 消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備工事の一部着工 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	消防団車庫整備	算出根拠等 通信統計	件	目標値	1	7	2	2
				実績(見込)	1	7	2	
	算出根拠等	達成率(%)		目標値	100	100	100	
				実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
実績(見込)								
算出根拠等	達成率(%)		目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等	達成率(%)		目標値					
			実績(見込)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・建築年度だけでなく、現地調査により破損、老朽化状況を把握して修繕、長寿命化を中心とした団車庫整備計画を推進している。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ所の修繕工事を進めている。荘川支団(六厩) 高根支団(上ヶ洞) H28年度 久々野支団(橋場)移転に向けた意思決定 		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	・久々野支団(橋場)を新築移転する計画。
		縮小	・現地調査を継続し、平成32年度以降の整備車庫、工事内容を決定する。
	○ 維持・改善	拡大	・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。
		縮小	廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 13,173	459,492	11,000	5,365
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 143	5,016	121	59
	受益者 高山市民	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車庫整備 アナログ無線設備撤去 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した消防団車庫の整備 デジタル無線の整備により使用しなくなった無線設備の撤去 	事業実施の課題	・消防団車庫の老朽化に伴い、計画的に補修する必要がある
------	---	---------	--	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	11,000	5,365	△ 5,635	5,000	5,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	11,000	5,365	△ 5,635	5,000	5,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81310 消防車両整備事業費	会計	1 一般会計	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約 ・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
		款	8 消防費	基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	消防車両整備事業	
担当課	消防総務課・救急課・警防課	項	1 消防費	分野	9 消防	H28実施計画額	85,000 千円	
	内線 2117	目	3 消防施設費	施策概要	2 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・火災をはじめとする各種災害対応に万全を期するため、消防車両(署・団)を常に万全の形で配備しておく必要がある。 ・老朽化した消防車両等を更新し、消防活動の安全と災害時の対応能力が向上することで、市民の安心安全を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	・常備消防車両整備計画及び消防団車両整備計画により、計画的に更新整備する。
	対象者数	92,595 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両については、清見支団(夏殿班)、久々野支団(小屋名班)にCD-1型2台を更新し、久々野支団(久須母班)、国府支団(宇津江2区班)の可搬積載車2台を更新した。 高規格救急車は、1台を更新して丹生川出張所に配備した。 高山消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新整備した。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	消防団車両更新	台	目標値	2	4	4	3
		実績(見込)	2	4	4			
	算出根拠等	達成率(%)		100	100	100		
	成果指標	高規格救急自動車更新	台	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1			
	算出根拠等	達成率(%)		100	100	100		
	成果指標	常備消防車両更新	台	目標値		1	1	0
		実績(見込)		1	1			
	算出根拠等	達成率(%)			100	100		
	成果指標	資器材搬送車更新	台	目標値	1			0
		実績(見込)	1					
算出根拠等	達成率(%)		100					
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等	達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持管理していかなければならない。 消防車両等の更新について、国庫補助等を効果的に活用する。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防団のポンプ自動車2台(高山支団漆垣内班、上室支団蔵柱班)及び小型動力ポンプ積載車(荘川支団野々俣班、国府支団郷塚班)を更新する。 高規格救急車(上室分署)を更新整備する。 水槽付消防ポンプ車(上室分署)を更新整備する。 		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	消防団の再編を推進し、適正な台数にする。
		縮小	計画により、車両を更新して適正に維持管理する。
	○ 維持・改善	拡大	消防団車両整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 96,100	121,576	121,500	103,609
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,024	1,303	1,312	1,119
	受益者	高山市民及び白川村民 (B)	93,807	93,308	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団ポンプ自動車2台の更新 消防団小型動力ポンプ積載車1台の更新 高規格救急車の更新(白川出張所) 	要求のポイント	・計画的な消防車両の更新	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両の整備について、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに計画的かつ効率的に整備をすすめる 充実強化を進めていくが、高額であることから、整備に併せた財源の確保を目指す
------	--	---------	--------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	121,500	103,609	△ 17,891	70,000	70,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	12,400		△ 12,400			
	県支出金			0			
	その他	34,469	34,469	37,000	37,000		
	一般財源	109,100	69,140	△ 39,960	33,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81320	消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117	項	1	消防費	分野	9	消防	H28実施計画額	30,000 千円		
				目	3	消防施設費	施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 ・消防水利等の適正な維持管理を行うことにより、災害時において効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	事業の実施手法(手段)	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、耐震性貯水槽を整備する ・修繕等の措置が必要な消防水利の改修 ・老朽化した標識等の修繕、改修 ・防火水槽の清掃(土砂除去等)
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果指標	H26実績	・耐震性貯水槽2基(江名子町・久々野町)を更新整備したことにより、地震災害等における消防水利が充実し、消防体制及び地域の防災力強化が図られた。 ・整備した地域の避難所において、災害時の生活雑用水が確保され、避難所機能の向上が図られた。 ・町内及び地権者要望による防火水槽の撤去(水利充足地域)。 ・防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損・老朽化に対する修繕、防火水槽内に堆積した土砂の除去。					
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27
成果指標	耐震性貯水槽整備	基	目標値	2	2	2	2
			実績(見込)	2	2	0	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	0	
			目標値	6	12	9	4
成果指標	消防水利施設修繕	箇所	実績(見込)	17	15	7	
			達成率(%)	283	125	78	
成果指標	算出根拠等		目標値	4	4	4	2
			実績(見込)	2	2	2	
成果指標	防火水槽土砂除去(清掃)	箇所	達成率(%)	50	50	50	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	・耐震性貯水槽の整備と同時に、初期消火活動に使用するための小型動力ポンプを整備し、地域の自主防災組織に貸与することにより防災力強化に繋げている。 ・消防水利施設整備事業費から水利維持管理負担金(消火栓維持管理負担金)を水道事業会計へ支出し、消火栓の維持管理を行っている。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、継続的な更新整備をするために防火水槽設置に係る用地確保が課題である。 ・防火水槽設置に係る用地確保が困難なものについては、最新の工法による簡易耐震化の研究や検討をする必要がある。 ・消防水利の基準を満たさない水利施設や既存防火水槽における大規模な改修や修繕が必要な場合、延命化や耐震化及び廃止(統廃合)の検討が必要。 ・防火水槽躯体の老朽化が進んでおり、修繕対象箇所の増加が見込まれ修繕費用の増加が予想される。 ・消火栓維持管理について、施設の老朽化や機能低下が増加しており、効果的な修繕や改修等の検討が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・平成26年度に、用地確保について公共施設や公民館(避難所)等の長期設置が見込める場所を優先し整備計画における更新候補地を追加修正した。 ・既存防火水槽における、用地確保が困難なものについては、簡易耐震化や有蓋化の検討をし延命化を図る。 ・消防水利の維持管理、修繕については適切な配置や緊急度を判断し、優先順位を決定し効率的に実施する。 ・消火栓の維持管理については、関係課である水道課と連携しながらコスト削減を図っている。
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	39,053	26,322	29,700	29,310
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	424	287	327	322
	受益者	高山市民	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・耐震性貯水槽整備計画に基づく既存防火水槽から耐震性貯水槽への更新 ・防火水槽の修繕(躯体漏水修繕、フェンス修繕、給排水口等修繕、安全対策) ・防火水槽の適切な維持管理(汚泥処理) ・消火栓の適正配置と維持管理 ・地下式消火栓の地上化	要求のポイント	・計画的な耐震性貯水槽の整備 ・消火栓の機能保全と適正配置	事業実施の課題	・市内620基の防火水槽について耐震性貯水槽への更新整備を進めているが、用地が無く更新不可能な防火水槽の延命化の検討が必要である ・各施設の老朽化が進んでおり、水利施設の修繕費が増加している ・経年による消火栓の機能不良(排水不良等)が増加しており、計画的な更新が必要である
------	---	---------	----------------------------------	---------	---

事業費(人件費除)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	29,700	29,310	△390	29,000	29,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	5,386	5,386	0	5,386	5,386		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	24,314	23,924	△390	23,614	23,614		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	81330	消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
				款	8	消防費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課		内線		項	1	消防費	分野	9	消防	H28実施計画額	10,000	千円	
		2119		目	3	消防施設費	施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・消防、救急資器材について経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の育成、組織強化を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 ・初期消火資器材の更新及び修繕 ・自主防災組織の訓練指導
	対象者数	92,595	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 上下式防火衣の更新、空気呼吸器ボンベ容器の更新 消防用ホース購入 消防音楽隊の楽器購入 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	上下式防火衣	着	目標値	17	17	8	8
		算出根拠等		実績(見込)	17	17	8	8
	活動指標	ホース更新本数	本	目標値	127	103	86	50
		算出根拠等		実績(見込)	116	103	70	70
	活動指標	空気ボンベの更新	本	目標値	14	12	0	19
		算出根拠等		実績(見込)	14	12	0	0
	活動指標	自動式吸引器の更新	器	目標値	1	0	0	0
		算出根拠等		実績(見込)	1	0	0	0
	成果指標	初期消火資器材(ホース)更新	本	目標値	60	90	70	50
		算出根拠等		実績(見込)	67	60	55	55
	成果指標	初期消火資器材(格納庫)更新	基	目標値	20	10	15	10
算出根拠等			実績(見込)	14	11	10	10	
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数のある資器材について、計画的に更新整備を図り、消防活動の充実・強化に努める。 消防車両等の更新について、国庫補助等を積極的に活用する。 整備資器材を活用した訓練等を実施し、損害額の減額や救命率向上など消防活動内容の充実に努める。 自主防災組織が行う訓練について、自主的な活動を支援する。 自主防災組織の隊長固定化を促進し、リーダーを育成して継続的な地域防災力の向上を図る。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防用ホース、空気呼吸器用ボンベ容器、上下式防火衣等の各種消火設備の計画的な更新整備により、現場活動の安全性向上と、充実・強化を図る。 自主防災組織等への働きかけにより各種訓練等の実施促進を図る。 自主防災組織が行う訓練について、地域の実情にあった訓練の実施を促進する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、有効活用することで総合的な消防力の向上を図る。 自主防災組織において地域の実情に沿った訓練の継続的な実施促進を図る。 老朽化した初期消火資器材の適切な更新を図る。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	12,010	11,957	5,700	19,985
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	128	128	62	216
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	93,807	93,308	92,595

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防用ホースの更新 消防団活動のための資器材整備 上下式防火衣の更新 自主防災組織へ貸与している初期消火資器材の更新 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材の計画的な整備による消防防火体制の向上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備資器材を活用した訓練を実施し、損害額の減額や救命率の向上につなげるなど消防活動の充実に努めなければならない 計画的に資器材の整備を進めているが、劣化が予想以上に進んだことによる不具合の発生や、事業内容の変化等に適正に対応するため、計画の部分修正や見直しを図りながら順次整備していく必要がある
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,700	19,985	14,285	27,200	27,200	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 消防団装備の充実に要する経費を計上 	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	29	1,353	1,324	5,892	5,892		
一般財源	5,671	18,632	12,961	21,308	21,308		